

第11回 ホスピス学校

2018年
5/12 (土)

開場 13:00～

開演 13:30～15:40

死は人生で
最も大切なことを
教えてくれる

会場 山梨県立図書館 1F イベントホール東

定員 120名 (要予約)

参加費 会員 1,000 円 (非会員 1,500 円)

講師 鈴木 秀子 (聖心会シスター、文学博士)

内藤 いづみ (在宅ホスピス医)

お申し込み FAX 055-252-4811 MAIL hpg2255@gmail.com

お問い合わせ 090-5999-1520 (山下)

チケットのご予約はファックスまたはメールでお願いします。

(電話は留守電に入れてください・3日以内に返信がない時はご連絡ください)

主催/ホスピス・在宅ケア研究会やまなし

○ ホスピス学校って…？！

医師になって三十余年。“いのち”に向かい合う学びをホスピスケアの道に求めました。その道は険しいものでしたが、その旅路には、世界中の美しい風景があり、友人や仲間や先生たちがいました。どんないのちも、小さな宇宙のエネルギーに満ちていることを学びました。

ホスピス学校は飛ぶ学校。仲間とともに、どこへ飛んでいくかわからない。生徒（参加者）には、全員10歳のころに戻り、キラキラ輝く瞳で、尊敬する先生方のいのちの教えを姿勢を正して学んでいただき、それを日々の暮らしに生かしていただければ幸いです。

○ Memento mori メメント・モリ

「死は人生で最も大切なことを教えてくれる」これは、多くの死にゆく人へ寄り添ってこられた鈴木秀子シスターの最近の著書のタイトルです。私は30年の在宅ホスピスケア活動を通してシスターとも出会い教えをいただけてきました。死を語ることは長年タブーとされてきましたが、先人たち（E.K.ロス医師、シシリー・ソンドラス医師、アルフォンスデーケン神父、鈴木秀子シスターなど）が種を蒔いて、耕してくださったおかげでついにこのように死について語るストレートなタイトルを社会に示す時代が到来したのだと感慨深いです。

死を考える「メメント・モリ」があつてこそ、私たちの今を生きるいのちは輝くのだと私は思います。今回、皆さんとともにホスピス学校で鈴木シスターのお話を伺えること、大変嬉しく感謝の思いでいっぱいです。

講師プロフィール

鈴木秀子 聖心会シスター。東京大学大学院人文科学研究科博士課程修了。文学博士。フランス、イタリアに留学。スタンフォード大学で教鞭をとる。聖心女子大学教授（日本近代文学）を経て、国際コミュニオン学会名誉会長。聖心女子大学キリスト教文化研究所研究員・聖心会会員。長年にわたり、全国および海外で講演活動を行い、多くの相談を受けてきた。特に、死が近づく人やその関係者からの相談が非常に多い。世界中の病院を巡り、東日本大震災の被災地巡りを頻繁に行っていることや、自身が臨死体験したことが関係している。著書に『9つの性格 エニアグラムで見つかる「本当の自分」と最良の人間関係』（PHP 研究所）のほか、『死にゆく者からの言葉』（文藝春秋）、『心の対話者』（文藝春秋）など。

内藤いづみ 在宅ホスピス医。ふじ内科クリニック院長。福島県立医大卒。東京女子医大内科等に勤務。英国でのホスピス研修を経、1995年に甲府市にふじ内科クリニックを開業。山梨県青少年協会理事長。やまなし大使。ホスピス・在宅ケアやまなし代表。大正大学客員教授（死生学）。著書に「あした野原に出てみよう」「幸せの13粒」「いい医者いい患者いい老後～いのちを見つめる二人旅～」 「いのちの不思議な物語」ほか多数。

第11回 ホスピス学校 予約申し込み  FAX 番号 055-252-4811

お名前				TEL	
参加人数	会員	名	非会員	名	MAIL
住所(市町村)				FAX	